

自然科学研究機構核融合科学研究所運営会議（第83回）議事要旨

- 1 日 時 令和5年3月14日（火）13：40～18：00
- 2 場 所 TV会議
- 3 出席者（委員）池田、上田、大野、小澤、藤澤、松岡、山田、米田、渡邊、森崎、居田、長壁、洲鎌、村上、柳、坂本、永岡、藤堂、榊原の各委員
- （陪席）第3会議室：吉田所長、浅野総務企画課長、廣井財務課長、熊澤研究支援課長、白髭施設・安全管理課長、新井総務企画課課長補佐、清水総務係長、板垣人事係長心得、小橋総務係員
- T V 会 議：野田管理部長、林技術部長、今川装置工学・応用物理研究系研究主幹
- 4 欠席者（委員）金子委員、岸本委員
- 5 配付資料
- 資料 1 自然科学研究機構核融合科学研究所運営会議（第82回）議事要旨（案）
- 資料 2 今後の共同研究の在り方についての提言
- 資料 3 核融合科学研究所規則制定一覧（案）
- 資料 4 核融合科学研究所規則等一部改正一覧（案）
- 資料 5 人事委員会の設置状況について
- 資料 6-1 人事委員会報告（プラズマ理論 教授又は准教授）
- 資料 6-2 人事委員会報告（プラズマ実験 教授又は准教授）
- 資料 6-3 人事委員会報告（プラズマ学際領域 教授又は准教授）
- 資料 6-4 人事委員会報告（核融合材料学 教授又は准教授）
- 資料 6-5 人事委員会報告（学際領域（若手）助教、及び学際領域（女性）助教）
- 資料 6-6 人事委員会報告（クロスアポイントメント（プラズマ実験））
- 資料 6-7 人事委員会報告（クロスアポイントメント（プラズマ装置学））
- 資料 7 令和5年度客員教授等（国内）の招へい計画（案）
- 資料 8 令和5年度客員教授等（外国）の招へい計画（案）
- 資料 9 令和4年度核融合科学研究所運営会議任期制評価委員会報告
- 資料 10-1 NIFS Peer Review Reports in FY2022
- 資料 10-2 令和4年度外部評価委員会スケジュール
- 資料 11 核融合科学研究所運営会議今後の中核実験計画の在り方に関する検討ワーキンググループ規則（案）
- 資料 12 2023年度共同研究審査結果一覧表
- 資料 13 研究教育職員の人事異動（令和4年12月19日以降）
- 資料 14 クロスアポイントメント制度の適用について
- 資料 15 令和5年度COE研究員名簿（案）
- 資料 16 公募文（ミッション実現戦略事業 特任助教）

- 資料 17 令和5年度核融合科学研究所予算（案）  
資料 18 未来の学術振興構想  
資料 19 共同研究成果報告会参加者数一覧  
資料 20 大型ヘリカル装置計画 2022年度研究成果  
資料 21 数値実験炉研究 2022年度研究成果  
資料 22 核融合工学研究 2022年度研究成果  
資料 23 核融合科学研究所重水素実験安全評価委員会（第23回）について

- 参考資料 1 「核融合科学研究所における助教、助手又は特任助教の候補者の選考方法等に関する申合せ」  
参考資料 2 「核融合科学研究所研究教育職員の再任評価に関する申合せ」、「再任評価に関する運用について」  
参考資料 3 「核融合科学研究所COE研究員規則」、「核融合科学研究所COE研究員選考手続に関する要項」  
参考資料 4 「「見解」 プラズマサイエンス ―その学際的发展と豊かな未来社会のために― 日本学術会議 物理学委員会 物性物理学・一般物理学分科会 プラズマサイエンス小委員会（未定稿）」

#### 席上配付資料

- ・自然科学研究機構核融合科学研究所運営会議委員名簿

#### 6 開会

森崎議長から、開会の挨拶があった。

#### 7 所長挨拶

吉田所長から、挨拶があった。

#### 8 出席者の確認等

浅野総務企画課長から、本日の出席者数を確認したところ、構成員の過半数の出席が得られたので、本会は成立している旨報告があった。

#### 9 オブザーバーの同席について

森崎議長から、今川装置工学・応用物理研究系研究主幹について、オブザーバーとして列席させた旨提案があり、これを了承した。

#### 10 配付資料の確認

浅野総務企画課長から、あらかじめEメールにより送付した資料の確認があった。

#### 議 事

#### 11 協議事項（1）運営会議（第82回）議事要旨（案）について

森崎議長から、資料1に基づき、前回運営会議の議事要旨（案）について、修正等の意見がある場合は、本会議終了までに申し出るよう発言があった。

12 協議事項（２）今後の共同研究の在り方について

山田 今後の共同研究の在り方に関する検討ワーキンググループ主査から、資料２に基づき、同ワーキンググループにおいて取りまとめを行った提言の説明があり、審議の結果、同提言について、今後の共同研究の基本方針とすることを議決した。

吉田所長から、提言の取りまとめに携わった関係各委員に対して、謝辞が述べられた。

13 協議事項（３）組織改編に伴う核融合科学研究所組織運営規則等の制定について

吉田所長から、資料３に基づき、研究所の組織改編に伴って新たに制定する組織運営規則等（案）について、前回の運営会議での質疑応答・意見交換の結果を踏まえて、研究所で改めて確認・修正したものであるとの説明があり、審議の結果、これを承認した。

14 協議事項（４）組織改編に伴う規則等の一部改正について

吉田所長から、資料４に基づき、研究所の組織改編に伴って一部改正する規則等（案）について、組織改編後の役職名に変更するなどの一部改正を行うものであるとの説明があり、審議の結果、これを承認した。

15 協議事項（５）研究教育職員の人事について

ア 人事委員会における候補者選考の結果報告について

森崎議長から、資料５に基づき、現在設置されている人事委員会について説明があった。

また、森崎議長から、参考資料１「核融合科学研究所における助教、助手又は特任助教の候補者の選考方法等に関する申合せ」に基づき、運営会議委員が候補者と利害関係を有する場合は、助教候補者選考の審議及び投票に加わらないことについて説明があり、本会議で審議及び投票する候補者選考について利害関係を有する委員がいないことを確認した。

(1) プラズマ理論の教授又は准教授選考

当該選考を担当する人事委員会委員長から、資料６－１に基づき、プラズマ理論の教授又は准教授の候補者５名について、選考の経緯、選考した候補者の略歴、業績等の説明、及び当該選考を担当する人事委員会委員から補足説明があり、リモート投票による審議の結果、同候補者５名を採用予定者とすることを承認した。

また、森崎議長から、採用予定者の任期は就任日から５年、再任可である旨説明があった。

(2) プラズマ実験の教授又は准教授選考

当該選考を担当する人事委員会委員長から、資料６－２に基づき、プラズマ実験の教授又は准教授の候補者２名について、選考の経緯、選考した候補者の略歴、業績等の説明、及び当該選考を担当する人事委員会委員から補足説明があり、リモート投票による審議の結果、同候補者２名を採用予定者とすることを承認した。

また、森崎議長から、採用予定者の任期は就任日から５年、再任可である旨説明があった。

(3) プラズマ学際領域の教授又は准教授選考

当該選考を担当する人事委員会委員長から、資料６－３に基づき、プラズマ学際領域の教授又は准教授の候補者５名について、選考の経緯、選考した候補者の略歴、業績等の説明、及び当該選考を担当する人事委員会委員から補足説明があり、リモート投票による審議の結果、同候補者５名を採用予定者とすることを承認した。

また、森崎議長から、採用予定者の任期は就任日から5年、再任可である旨説明があった。

(4) 核融合材料学の教授又は准教授選考

当該選考を担当する人事委員会委員長から、資料6-4に基づき、核融合材料学の教授又は准教授の候補者1名について、選考の経緯、選考した候補者の略歴、業績等の説明、及び当該選考を担当する人事委員会委員から補足説明があり、リモート投票による審議の結果、同候補者1名を採用予定者とすることを承認した。

また、森崎議長から、採用予定者の任期は就任日から5年、再任可である旨説明があった。

(5) 学際領域（若手）の助教、及び学際領域（女性）の助教選考

当該選考を担当する人事委員会委員長から、資料6-5に基づき、学際領域（若手）の助教、及び学際領域（女性）の助教の候補者5名について、選考の経緯、選考した候補者の略歴、業績等の説明、及び当該選考を担当する人事委員会委員から補足説明があり、リモート投票による審議の結果、同候補者5名を採用予定者とすることを承認した。

また、森崎議長から、採用予定者の任期は就任日から5年、再任可である旨説明があった。

(6) クロスアポイントメント（プラズマ実験）の選考

当該選考を担当する人事委員会委員長から、資料6-6に基づき、クロスアポイントメント（プラズマ実験）の候補者2名について、選考の経緯、選考した候補者の略歴、業績等の説明、及び当該選考を担当する人事委員会委員から補足説明があり、リモート投票による審議の結果、同候補者2名を採用予定者とすることを承認した。

また、森崎議長から、クロスアポイントメントの協定期間は3年であるが、協定が更新されれば、任期も更新される旨説明があった。

(7) クロスアポイントメント（プラズマ装置学）の選考

当該選考を担当する人事委員会委員長から、資料6-7に基づき、クロスアポイントメント（プラズマ装置学）の候補者3名について、選考の経緯、選考した候補者の略歴、業績等の説明、及び当該選考を担当する人事委員会委員から補足説明があり、リモート投票による審議の結果、同候補者3名を採用予定者とすることを承認した。

また、森崎議長から、クロスアポイントメントの協定期間は1年であるが、協定が更新されれば、任期も更新される旨説明があった。

イ 令和5年度客員教授等（国内）の招へい計画について

吉田所長から、資料7に基づき、研究所内の審査結果を踏まえた令和5年度客員教授等（国内）の招へい計画（案）について提案があり、審議の結果、これを承認した。

ウ 令和5年度客員教授等（外国）の招へい計画について

吉田所長から、資料8に基づき、研究所内の審査結果を踏まえた令和5年度客員教授等（外国）の招へい計画（案）について提案があり、審議の結果、これを承認した。

16 協議事項（6）研究教育職員の再任評価について

任期制評価委員会委員長から、資料9及び参考資料2「核融合科学研究所研究教育職員の再任評価に関する申合せ」等に基づき、1月26日（木）及び2月15日（水）に開催した任期制評価委員会

の報告及び対象者の再任に係る評価結果について説明があり、評価基準等を確認のうえ、対象者8名全員の再任について承認した。

17 協議事項（7）令和4年度外部評価について

山田外部評価委員会委員長から、資料10-2に基づき、令和4年度の外部評価について、外部評価委員会及び同専門部会における審議経過等の説明があった。

また、山田委員長から、資料10-1に基づき、令和4年度外部評価報告書（案）について説明があり、審議の結果、これを承認した。

なお、同報告書の和訳版及び要約版について、研究所が案を示し、山田委員長及び米田副委員長が案を確認することで作成することとした。

次いで、吉田所長から、外部評価に携わった関係各委員に対して、謝辞が述べられた。

18 協議事項（8）今後の中核実験計画の在り方に関する検討ワーキンググループの設置について

吉田所長から、資料11に基づき、運営会議の下に「今後の中核実験計画の在り方に関する検討ワーキンググループ」を設置することについて提案があり、審議の結果、これを承認した。

次いで、吉田所長から、同ワーキンググループの委員のうち、研究所外の運営会議委員から選出する委員の候補者について提案があり、審議の結果、これを承認した。また、同ワーキンググループの主査について、審議の結果、山田委員を主査として選出した。

なお、同ワーキンググループの委員のうち、研究所内の運営会議委員から選出する委員及び研究所内外の運営会議委員以外の者から選出する委員については、後日、研究所から提案し、次回の運営会議又は別途メールにて審議の上、選出することとした。

[今後の中核実験計画の在り方に関する検討ワーキンググループ]

主 査（所外委員）	山田
委 員（所外委員）	上田、藤澤、松岡
〃（所内委員）	別途審議の上、選出
〃（運営会議委員以外）	別途審議の上、選出

19 協議事項（9）2023年度共同研究採択結果について

共同研究委員会委員長から、資料12に基づき、2023年度の双方向型共同研究、一般共同研究及び原型炉研究開発共同研究の審査結果について説明があり、審議の結果、これを承認した。

20 報告事項（1）研究教育職員の人事について

ア 研究教育職員の人事異動について

浅野総務企画課長から、資料13に基づき、前回運営会議（令和4年12月19日）以降の研究教育職員に係る人事異動（辞職2名、契約期間満了退職1名）について報告があった。

イ クロスアポイントメント制度の適用について

浅野総務企画課長から、資料14及び画面共有資料に基づき、令和5年4月1日からのクロスアポイントメント制度の適用者（派遣6名、受入6名）について報告があった。

ウ 令和5年度COE研究員の採用等について

COE研究員選考委員会委員長から、資料15及び参考資料3「COE研究員規則」等に基づき、

COE研究員の令和5年度の新規採用候補者について、1名が採用を辞退したため、前回の運営会議で承認されたとおり、採用候補補欠者1名を繰り上げて新規採用候補者とした旨報告があった。

21 報告事項（2）人事委員会における候補者選考の中間報告について

ミッション実現戦略事業の特任助教の選考を担当する人事委員会の永岡委員長から、資料16に基づき、令和5年2月1日付けで公募を行っており、令和5年6月8日（木）公募締切である旨報告があった。

22 報告事項（3）ユニット及び学術実験プラットフォーム構築に向けた検討状況について

坂本ユニット準備室長から、核融合科学研究所のユニット構築に向けた検討状況について説明があった。

次いで、永岡学術実験プラットフォーム検討チームリーダーから、核融合科学研究所の学術実験プラットフォーム構築に向けた検討状況について説明があった。

また、吉田所長から、画面共有資料に基づき、組織改編後の研究教育職員の配置について説明があった。

23 報告事項（4）令和5年度核融合科学研究所関係予算について

吉田所長から、資料17に基づき、令和5年度核融合科学研究所予算（案）について、事項毎の予算額等の説明があった。

24 報告事項（5）学術振興のビジョン・中長期研究戦略「プラズマ物理の学際的展開—集団現象の理解に向けて」について

吉田所長から、資料18及び参考資料4「「見解」プラズマサイエンス」に基づき、未来の学術振興構想「学術の中長期研究戦略」について、「プラズマ物理の学際的展開—集団現象の理解に向けて」との名称で申請した旨報告があった。

25 報告事項（6）2022年度核融合科学研究所共同研究成果報告会について

共同研究委員会委員長から、資料19に基づき、1月24日（火）～26日（木）に開催した2022年度LHD計画共同研究、原型炉研究開発共同研究、双方向型共同研究及び一般共同研究の各成果報告会の概要及び討議内容等について報告があった。

26 報告事項（7）大型ヘリカル装置計画プロジェクトの2022年度研究成果について

居田研究総主幹から、資料20に基づき、大型ヘリカル装置計画プロジェクトの2022年度研究成果について説明があった。

27 報告事項（8）数値実験炉研究プロジェクトの2022年度研究成果について

洲鎌研究総主幹から、資料21に基づき、数値実験炉研究プロジェクトの2022年度研究成果について説明があった。

28 報告事項（9）核融合工学研究プロジェクトの2022年度研究成果について

村上研究総主幹から、資料22に基づき、核融合工学研究プロジェクトの2022年度研究成果について説明があった。

- 29 報告事項（10）核融合科学研究所重水素実験安全評価委員会（第23回）について  
長壁本部長から、資料23に基づき、3月22日（火）に開催された核融合科学研究所安全監視委員会について報告があった。
- 30 その他  
ア 協議事項（1）運営会議（第82回）議事要旨（案）について  
本会議の冒頭で、森崎議長から提案があった資料1（前回の議事要旨（案））について、修正等の意見は無く、これを承認した。
- 31 閉会  
最後に、吉田所長から、第10期運営会議最後の会議の閉会に当たり、謝意が述べられた。

以 上